

平成27年度魅力ある学校づくり推進事業 「県立高等学校生き生き活性化支援事業」の概要

1 調査研究内容 【 探究学習を通じた「生きる力」の育成 】

2 調査研究のねらい

本校の生徒は学習意欲や知的な好奇心が低く、「学びの楽しさ」を体感していないものが多い。そこで、探究学習を通して「学びの楽しさ」を体感させ、学習意欲や知的な好奇心を高めることで、生徒の生きる力を育む。

3 調査研究の具体的内容

本研究では学年毎に以下のテーマに基づいて探究学習を進めていくものとする。

1 学年：「地域活性化への一考察」

2 学年：「職業についての一考察」

3 学年：「進路についての一考察」

また、本研究では探究学習を以下の二つに分けて研究を進める。

「探究学習Ⅰ」：探究学習の具体的手法を学ぶ

「探究学習Ⅱ」：各学年のテーマをもとにサブテーマを設定して調査研究を行う。

《探究学習Ⅰ》

1 学期に実施。4月にオリエンテーションを行って後、^{*}ジグソー法を取り入れた活動を行い、6月に行われる地域行事の海神祭で「伊良部高校フードフェスタ」として地域の食材を生かしたアイディア料理を販売する。

2 学期には学園祭のフード部門で、探究学習Ⅰで学んだことを生かした価格設定、売り上げ目標を掲げ、運営を行う。

※ジグソー法とは…

ジグソー法とは、互いに異なる内容を勉強したあとで、それを持ち寄って互いに自分が勉強したところを紹介しあって、ジグソーパズルを解くように全体像を協力して浮かび上がらせる手法。分担する題材やグループ編成の方法などによってさまざまな場面で用いられる学習方法。

《探究学習Ⅱ》

学園祭後、1年生は地域学習として地域を活性化させるための探究活動を行い、2年生はインターンシップを通してそれぞれの職種の働きがいについて探究活動を行う。その後、それらをポスターにまとめ、ポスターセッションの形で発表する。3年生は進路探究活動として、各自の進路についての準備をしていく。

このように分けて行う理由は、本校の生徒が日ごろから問題意識を持って学習できていないため、探究学習がネット上の情報をコピーペーストした浅薄で中身の伴わないものになることを危惧したからである。本研究では、生徒が多角的な視点で物事を捉え、探究学習を進めていけるよう、「探究学習Ⅰ」で「知的構成型ジグソー法」を取り入れた学習の仕方を学ぶ。そして、「探究学習Ⅱ」でこれまでに学んだことを生かして、各自のサブテーマに沿って調査研究を行う。

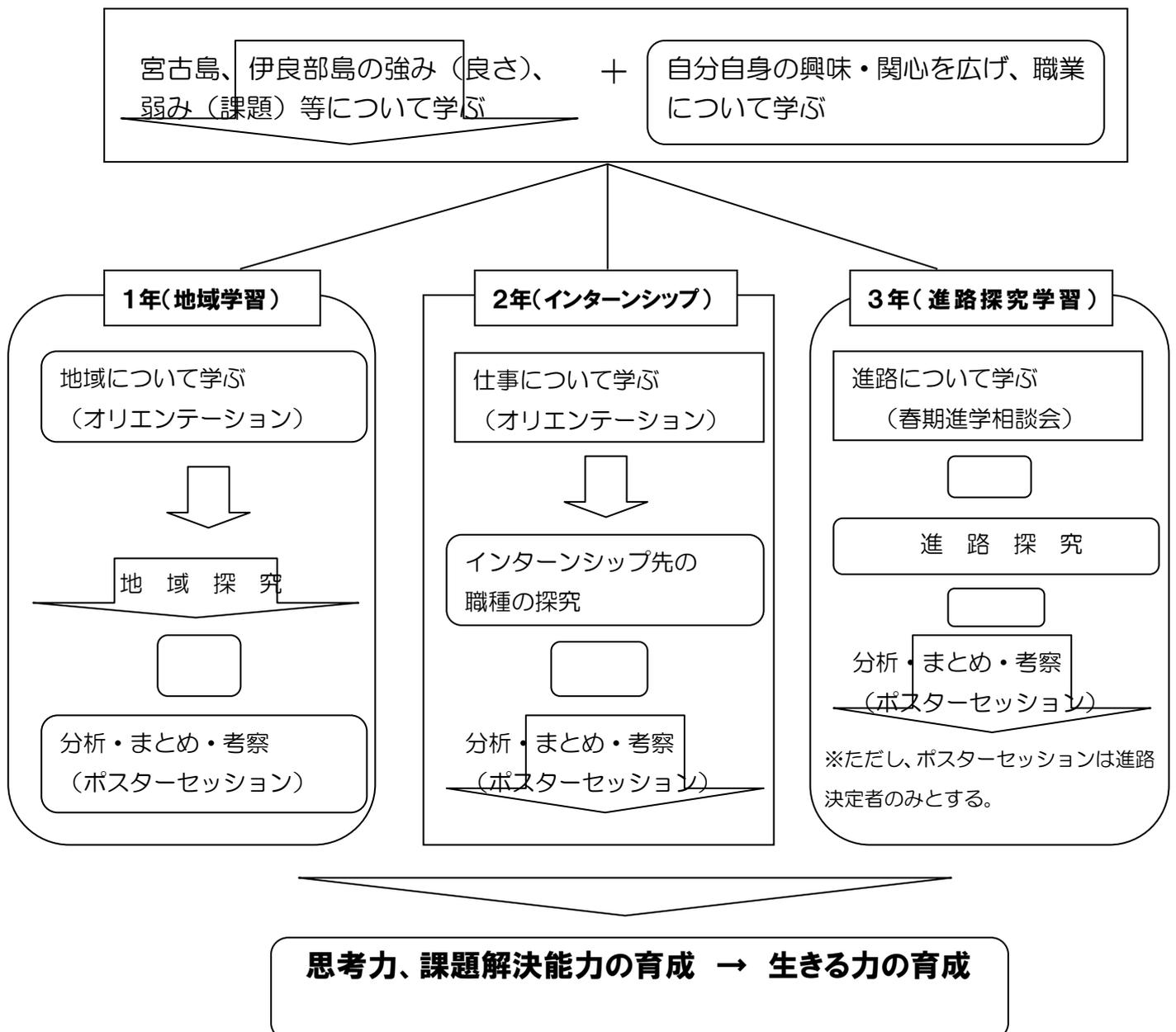
4 探究学習の概要

探究学習Ⅰ 「ジグソー法を用いた地域行事への主体的関わり(伊良部高校フードフェスタ)」

ねらい ①ジグソー法による話し合い ⇨ 多角的な視点で物事を考える力がつく (視野が広がる)

- ②自分たちでの企画・運営 ⇨ 自己肯定感の向上、自信につながる
- ③商業体験 ⇨ あいさつ、礼儀などの社会性が身につく
- ④協同作業 ⇨ コミュニケーション力向上

探究学習Ⅱ 「各学年のテーマによる調査研究とポスターセッションによる研究成果のプレゼン」



5 探究学習で身につけさせたい力

